

一般質問通告一覧表

令和8年9月定例会

通告順	氏 名 / 件 名 及 び 要 旨
8	(鳥越 真由美) 1. 子育て環境の充実・安心につながる『きょういく』とは (要旨) 安平町は2017年3月に第2次総合計画の中で大きく舵を切り、教育を柱としたまちづくりを進めてきました。震災という危機を乗り越え、目標としていた「子育て世代に選ばれる町」となり、人口も増えています。住む場所を問わず子育てには不安が尽きません。不安の原因となる「知らない」「わからない」を少なくすることができるよう、昨年に引き続き子育て環境の充実を目指して質問させていただきます。 (1) 安平町の『きょういく』の柱、教育コンセプトとしての『あびら教育プラン』にある「遊び」、「学び」、「挑戦」がどのようにつながり、成長する中で、なぜ必要であるのかを伺います。 (2) 漠然とした不安として、都市部との教育格差や将来の進学について相談されます。町内生徒の進学先などの情報が全く無いことも一因となっているようです。年代、個別の学校などが特定されない形で情報を出すことは可能か伺います。 (3) 手狭になっている教育施設に対する考え方を伺います。はやきた子ども園と早来学園が窮屈な現状を踏まえ、例えば早来地区の「みなくる」や追分地区の「いぶき」などの施設について施設全体の活用の仕方を見直しする必要があると思うがいかがでしょうか。 また、利活用できる施設とできない施設を整理し、町全体として幅広く使えるようにできないでしょうか。

2. 防災を見据えた高齢者世帯の不用品の整理に対する進捗状況を伺う

(要旨) 自然災害が止まりません。「いつかまた、自分たちも」「次こそは命にかかわるのでは」という不安が消えません。また、独居世帯、高齢世帯も増加傾向にあり引き継がれにくい空き家の増加も予想されます。昨年も質問させていただきましたが、喫緊の課題として昨年に引き続き現段階での進捗状況を伺います。

- (1) 災害廃棄物処理計画と整合性を図りながら「手引き」や「ハンドブック」に反映させたいとの前回答弁を踏まえ、どのように周知され、行動につながっているかを伺います。
- (2) 高齢者世帯の片付けを促す施策は、防災や被災ゴミにかかる経費節減、空き家の利活用、地域活性化につながると前回（令和7年3月）も質問、提案させていただきました。町長の防災の視点で考えたことはなかったとの答弁を受け、検討されてきていることと思いますが、現段階での進捗状況を伺います。